



自然散策と地域の宝さがしの開催

令和5年度自然散策と地域の宝さがしが、令和6年3月3日（日）に開催され、町内外より61名（関係者含む）の方の参加がありました。今年度は、中学生ボランティアガイドによる案内で、1.2キロコースを歩いた後、鍛冶屋中橋、鍛冶屋上橋、大久保自然石橋を散策し、石匠館の中を見学しました。

鍛冶屋中・上橋へ行く遊歩道は、グリーンツーリズム協会の皆さんが、歩きやすいようにと整地をしてくださったおかげで、安全に散策することができました。また、中学生ボランティアガイドは、今年度最後の案内でしたが、一生懸命説明したり、参加者の方に話しかけたりしている姿を見て、成長を感じました。

散策終了後には、後村会長より東陽中学校の生徒さん方へ終了証と記念品が贈呈されました。

中学生のみなさん、参加者のみなさん、お疲れ様でした。



体力づくり持久走大会の開催 『今年は仮装あり！？』

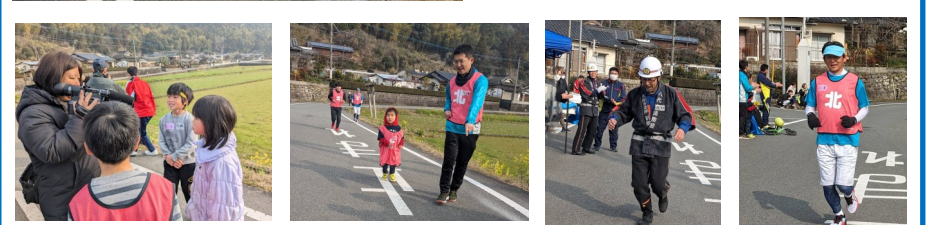
令和6年2月11日（日）、西原橋周辺において体力づくり持久走大会が開催されました。

本大会は、「早い人が勝ち！」のではなく、自分の宣言タイムに近い選手が入賞となる大会です。

当日はお天気も良く、後村会長から、「昨年より参加者が多くうれしく思います。宣言タイムを目指してケガなどしないように自分のペースで楽しんでください。」と、挨拶がありました。その後、コースごとにスタートしましたが、全コース参加の子どもたちも多く、東陽っ子の元気な姿を見ることができました。また、団服にヘルメット姿の参加者も数名おられ、仮装？も大成功のようでした（笑）。そして、参加された家族5人が全員入賞されたご家族もいらっしゃいました！

入賞されたみなさん、おめでとうございます☆

選手の皆さん、応援してくださった皆さん、スタッフの皆さん大変お疲れ様でした。



町の若い力

宮山 卓也さん（43歳）
由香里さん（44歳）



令和6年2月13日に、宮山卓也さんの晩白柚農園で卓也さんと奥様の由香里さんにお話を伺いました。卓也さんは、高校卒業後、町外に就職。その後、同郷の由香里さんと結婚され、地元東陽で大工として働いておられましたが、約10年ほど前にご両親が営んでおられた農業（晩白柚・デコボン（不知火）・生姜）を継がれたそうです。

卓也さんは、「手伝いくらいはしていたけど、晩白柚やデコボンを本格的に育てたことはなく、剪定などを先輩方に教えてもらっていましたが、初めて4月に花が咲いた時はとてもうれしかったです。」と、話され、今後については、「東陽町に若い就農者が増えるように、また東陽町の農業を絶やさないように頑張ります。」と、力強く話されました。

もう30年は経つ晩白柚農園に、昨年『くまモン』も取材に来て、収穫体験などをしてくれたそうです。

お子様4人を育てながら、共通の趣味のバドミントンを楽しまれており、東陽町の未来は明るいと、若いお二人を見て思いました。

これからも仲良く、お仕事頑張ってください。

ご協力ありがとうございました。



大谷翔平選手からの贈り物

2月13日、東陽小学校を訪れました。その理由は、大谷選手からのグローブの贈り物が東陽小学校にも届いた！ということを知ったからです。

大谷選手からのメッセージには、「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。野球しようぜ。」と、書いてありました。

子どもたちは、そのグローブを使用し、休み時間に野球やキャッチボールを楽しんでいるそうです。



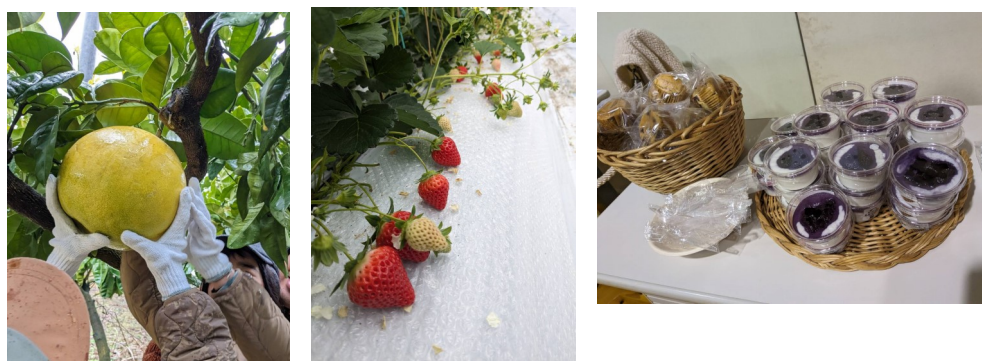
冬の東陽を楽しむ 晩白柚収穫体験

令和6年1月28日（日）、東陽グリーンツーリズム協会の晩白柚収穫（温泉券・スイーツ付き）に参加しました。

朝は小雨でしたが、ほどなくお天気も良くなり、八代市や熊本市、阿蘇や天草方面などからもたくさん参加されていました。世界一大きな果樹の「晩白柚」ですが、今年も見事で、参加者の皆さんは、あちこちにぶら下がっている晩白柚の中から、なるだけ大きいのを探したり、晩白柚と一緒に写真を撮ったりと楽しんでおられました。晩白柚収穫後には、いちご農家の黒田浩太郎さんのハウスでいちご狩りを楽しみました。摘みだての真っ赤ないちごは、それはそれはおいしゅうございました。

最後は石匠館を見学。石橋作りの模型や体験コーナーもあり、石工たちの知恵を知ることができ、みなさん興味深く見ておられました。

また来年も参加しま〜す！



とうようがふるさと

道の駅東陽 猿川廣美さん（67歳 南地区）

道の駅東陽のレストラン厨房で働いておられる猿川さんをご紹介します。

猿川さんは、東陽町北地区のお生まれで、小中学校を卒業後、調理専門学校に入学し、調理師免許を取得後、大阪で日本料理を学ばれたそうです。その後、熊本で寿司、日本料理を修行し、それでもまだ勉強をしたくて、猿川さんは、「ずいぶんあちこちで修行しました。最後は佐賀県で定年を迎えましたね〜。」と、当時は振り返り、お話しされました。

猿川さんのご家族は、奥様と子どもさん4人、お孫さん6人ですが、町外にお住まいです。ご自身は、亡きお母さまの実家でお暮しです。

「子どもも独立し、妻の理解もあり、故郷で好きなように暮らしています。小さい頃から東陽町の自然に触れ、都会の生活をした経験があるからこそ、故郷のありがたさがうれしい、感謝しています。」と、飛び切りの笑顔で話されました。

今の猿川さんの素晴らしいライフスタイルにエールを送ります。

九州国際スリーデーマーチ 2024 ~ようこそ 東陽町へ~

今年もスリーデーマーチの開催があり、3/2（土）に、婦人会の皆さんが40キロコース（180人予定）の湯茶接待をされました。当日は、寒い日でしたが、世界各国、日本各国からのウォーカー達は、みかんや生姜湯、ゴボウ茶などで接待を受け、大変喜ばれていました。婦人会の皆さんお疲れ様でした。



Qクイズ 私は誰でしょう？

ゲストさんに次の4つの質問をしてみました。Aさんは誰でしょう？

Aさん（ヒント：北地区 44歳）



- ①七転八起
- ②ドラマ鑑賞
- ③カピバラ
- ④100%



- ①座右の銘は？
- ②今、熱中してることは？ または楽しみなことは？
- ③自分を動物や花に例えると？ なんでしょう？
- ④今、幸せ度は何%ですか？

★第41号の答えAさん⇒黒田 達也さん（南地区）でした！
今月号の答えは、この紙面の下に書いてあります。

こにちは 陽和大くん

田村 陽和大（ひなた）くん
令和4年7月30日生まれ
父 拓也さん（北・新里）
母 美紗希さん



☆健やかなご成長をお祈りいたします

河俣保育園 親子制作

令和6年2月27日、河俣保育園のきく組さん親子が集まり、卒園式で子どもたちの胸に付けるブーケと特製の時計を作りました。制作中はとても賑わい、それぞれに想いのこもった作品が完成しました。最後に先生手作りのおいしいおやつも一緒に食べて、楽しい思い出が、また一つ増えました♡



~香典返し寄付のお礼~

東陽まちづくり協議会に、香典返しとして寄付がありました。

- ◆喪主 河内 良子 様 ・ 故人 養本 サチ 様（鹿路）
- ◆喪主 浦野 勢子 様 ・ 故人 光田 久枝 様（新里）
- ◆喪主 徳田 孝充 様 ・ 故人 徳田 シズノ 様（館原）
- ◆喪主 森崎 篤 様 ・ 故人 森崎 マツエ 様（箱石）

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、ここに厚く御礼申し上げます。
東陽校区発展のため、有効に活用させていただきます。
東陽まちづくり協議会 会長 後村 新一

田のわたい

河俣地区「鹿路いきいきサロン」 ~再開おめでとう~



令和6年2月28日（水）、午前10時から行われた「鹿路いきいきサロン」取材しました。コロナ禍で長いことお休みされていた「いきいきサロン」ですが、昨年12月から再開されたそうです。公民館には、「再開おめでとう」という垂れ幕が飾ってあり、鹿路地区（18世帯・兼田明典区長さん）の15人の方が参加されていました。

この日は、八代社協からの講師「和田康昭さん」による、お話とハーモニカの演奏があり、参加者の皆さんは、ハーモニカの演奏に合わせて、童謡や八代亜紀さんの歌などを歌われていました。

サロン終了後には、みんなでお茶を囲みながら、次回の日程を話し合っておられました。また、今回はハーモニカの演奏でしたが、その他の活動の時には、社協からの支援や、若い人たちが料理を作り、他の人は簡単にできるゲームなどをされ、和気あいあいと楽しまれているそうです。

今回、鹿路地区のいきいきサロンにお邪魔しましたが、私からのささやかなアクリル毛糸で作ったタワシも喜んでもらい、とても幸せな気持ちになりました。楽しいひと時をありがとうございました。



☆こうほう『東陽幸せまちづくり』は広報人権委員による手作りの広報誌です。まちの「ホット！」な情報を発信していきます！お楽しみに☆

☆私は誰でしょう？（4月号）の答え・・・赤崎 由佳さん（北地区）です。